

過程	学習活動	めざす子どもの姿	支援・手立て	研究との関連
とらえる	<p>問題をやってみる。 問題を数理的に捉え、問い・疑問に気づく。 既習とのずれ、感覚とのずれ 友だちとのずれ、予想とのずれ</p>	<p>あれ？どういうこと？ わからないなあ。</p>	<p>○未知のものに出会わせ、問題解決の場に立たせる ・考えたい問題。考える必要性のある問題 ・ねらいに関わるズレ(多様な考え)がおきる問題 ・数学的な見方や考え方の良さが実感できる問題</p>	<p>説明する意識をどう持たせるか。</p>
課題を見出す	<p>見通しを立てる。 答えや解決方法</p> <p>課題を設定する。 問い・疑問+見通し=課題</p> <p style="text-align: center;"><中心課題> <u>ねらいに関わる考えのずれがおきるもの。</u></p>	<p>今までとここが違うな。 どうしたらできるかな。 今までの学習で使えそうなものはないかな。 やってみたい・解決したいな。</p>	<p>○子どもと共に課題を設定する 子どもから問いを引き出す。 「わからない・困り」を出させる ↓ 問いを価値付け、全員に共有させる。 ↓ 課題として位置付ける。</p>	
やってみる	<p>自分の考えをもつ。 *書く活動 自分の考え(式や答え、考え方)を説明するために、その根拠となる図や言葉(式や数の意味、考え方)と共にかく。</p> <p>ペアトーク① ノート・ホワイトボードを指しながら説明 伝わっているか確認しながら説明 一往復半以上の伝え合い(聞いた人は質問や感想など必ず何かを伝える。)</p>	<p>友だちに分かってもらえるように図や言葉もかいておこう。 ここまでわかったけどここから分からないから、ここを友だちに聞いてみたい。</p> <p>自分の考えが説明できた。 もっとここをこう説明した方がいいな。 そんな考え方もあるのか。</p>	<p>○かく活動と説明する活動を連動させる。 相手に伝わるように自分の考えを説明することを意識させて、根拠・理由を図や言葉(式や数の意味や考え方)などを使ってかかせる。 ホワイトボードに何をかかせるか吟味 *かかせる前の言葉かけの工夫 ○全員に説明する場を保障する。 ペアトークのねらいを明確に子どもに伝える。 分からないことや疑問も伝え合わせる。</p>	<p>何をどうかかせるか</p>
ねりあう	<p>全体トーク① 考えの出し合い、比較検討①</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">随時、ペア・グループ全体で、友だちの考えの確認、再現、解釈、説明をする。</p>	<p>みんなと一緒に考えれば解決できるはず。 みんなは、どんな風に考えて答えを出したんだろう。知りたいな。いいね。そんな考え方もあるのか。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">ペア①②以外にも、ペアトークを小刻みに取り入れ、全員が思考し友だちの考えを理解できるようにする。何について話すのかを明確に子どもに伝えてから対話をさせる。</p>	<p>「分からない・困り」から出せる。</p> <p>○子どもに説明をさせる。 ○子どもの思いや考え方を引き出す。 「どうしてそう考えたの？」 ○一つの考えに全員を関わらせる。 ・子どもの思いや考えをつなぎ、思考過程を共有させる。友だちの話を聞き取らせる。友だちの考えの確認・再現・解釈・他者説明、リレー説明など。「○○さんがやろうとしてることわかる？」「Aさんの考え方をペアで説明してみよう。」「え？本当？絶対？」 ・友だちの考えを図にかかせてみる等。 ・後半では、子どものしゃべり言葉の説明を算数的表現に精選していく問い返し。 今のことは、式のどの部分に出てるの？等</p>	<p>伝え合いにどう活用するか</p>
	<p>ペア・グループトーク②</p> <p>全体トーク② 比較・検討②、新たな考えの生み出し</p> <p>本時のまとめをする。</p>	<p>ここが似てる。どれかな。これが簡単にできるな。</p> <p>本当だ。この考え良いな。</p> <p>今日のポイントはこれだな。この考え方はいいな。今度はこの考え方を使ってみたいな。</p>	<p>○深める問いについては、必ずペア・グループトークを行わせ、全員に思考・判断させる。</p> <p>○知識・技能面だけのまとめではなく、数学的な見方、考え方の良さや態度面もまとめる。</p>	
たしかめる	<p>たしかめ問題をよりよい方法で解く。</p> <p>ふり返りをする。</p>	<p>この時もこの考え方が使えるな。この時は、あの考え方のほうがいいな。</p> <p>こんなことが分かった・できた。 ○○さんの考えがよかった。 こういう時はどうなるの？ みんなと一緒に考えるといろいろな考え方があって面白いな。</p>	<p>○ねらいに対応したたしかめ問題をさせる。 数学的な考え方がねらいの場合・○○の解き方を説明しよう。どの考え方をを使う？など</p> <p>○資質・能力の育成を意識してふり返りを書かせる。 みんなで考えたからわかった。学び方。自分の考えの変化を自覚</p>	